運営推進会議開催報告書

令和 8 年 11 月 5 日

事業所名	特別養護老人ホーム アルメイダメモリアルホーム			
担当者	佐藤 幸恵	電話番号	097 - 568 - 2561	

1 開催日時	令和 8 年 10 月 28 日			
2 開催場所	特別養護老人アルメイダメモリアルホーム 3F会議室			
3 出席者	出欠			
(1) 委員 5 人	出	宇田 龍	(利用者・家族分野)	
	欠	後藤 俊一	(地域住民の代表者、サービスに知見を有する者分野)	
	出	足立 秀俊	(地域住民の代表者、サービスに知見を有する者分野)	
	出	田原 信夫	(地域住民の代表者、サービスに知見を有する者分野)	
	出	花咲 真衣	(稙田東地域包括支援センター職員)	
	欠		(大分市長寿福祉課職員)	
	出	井原 正文	(事業所代表)	
(2) 事務局 2 人		佐藤 幸恵	主任生活相談員	
		岩本 法子	事務主任	
4 活動状況報告	別紙・会議資料のとおり			
5 活動状況に関する評価				
施設の運営状況、入退所状況、レクリエーション、面会対応、感染症・災害対策、各種委員会、行事について				
6 要望、助言				
① 特になし				
②				
③				
④				
⑤				
7 要望、助言に対する考え方				
① 特になし				
②				
③				
④				
⑤				
8 その他特記事項				
① 特になし				
②				
③				
④				
⑤				

大分市 -8.11.10 長寿福祉課

令和８年度

第４回「ｱﾙﾒｲﾀﾞﾒﾓﾘｱﾙﾎｰﾑ地域密着型サービス」運営推進会議

○ 日 時 ： 令和 8 年 10 月 28 日（水）11 時 00 分
○ 場 所 ： アルメイダメモリアルホーム 3 階　地域交流室

次　第

１．開　会

２．施設長あいさつ

３．議　題

（１）　施設の運営状況について

（２）　質疑応答（要望、助言等）

（３）　その他

４．閉　会

社会福祉法人 大分福祉会

（ 特別養護老人ホーム アルメイダメモリアルホーム ）

（１）施設の運営状況について

①　入所者の状況（ 令和８年９月末現在 ）

性　別	入所者数	平均介護度	平均年齢
女性	１８人	４．２	９０．４
男性	４人	３．８	９０．８
合　計	２２人	４．１	９０．５

②　入退所者の状況（ 令和８年８月～令和８年９月）

	新入所	入所経路	退所者	退所理由	在居期間
令和８年８月	男性　０名		男性　０名		
	女性　１名	病院	女性　０名		
令和８年９月	男性　１名	病院	男性　１名	死亡（老衰）	０年０ヶ月（11 日）
	女性　０名		女性　２名	死亡（老衰）	６年６ヶ月 ３年４ヶ月
計	男性　１名		男性　１名		
	女性　１名		女性　２名		

通期:R8.4/1～9/30 の地域密着型の入所率 97.38%

③　参考／年度毎の入所者の状況（地域密着型分）

令和６年度の入所率 99.14%（常に 21.81 人が入所）※定員 22 名

令和７年度の入所率 97.97%（常に 22.21 人が入所）※～R7.11 月まで定員 22 名

R7.12～定員 24 名・年平均定員 22.67 人

④ ショートステイ利用状況

利用実績なし

⑤ 施設全体行事

9月　　ＢＣＰ訓練
　　介護等体験受入（大分大学）・大分南高校２年生実習受入

10月　　運動会
　　大分南高校２年生実習受入

■9月の記録より　ＢＣＰ訓練（全体行事）

厨房の排水管工事に伴い、水が断水する為、昼・夕食を非常食で提供し、災害時を想定した訓練を実施しました。今回は、災害時にどの職員でも食事提供ができる事を目的とし、普段は食事に関わらない事務職員・生活相談員が中心となり準備・調理・配膳までを行い、現在の調理工程が『誰にでもできる』かをチェックし、改善点等を収集しました。具体的な意見として、「カレーライスが全部の食形態の方でも食べれたから良かった」「フルーツ缶は、切るのに時間を要するので適さない」など様々な意見がでました。

当日のメニュー

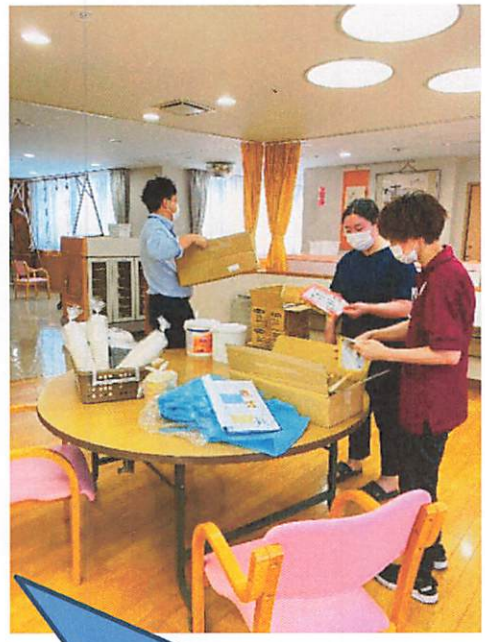
	常　食
昼	カレーライス
	フルーツ缶
	野菜ジュース
夕	お粥
	とりそぼろ
	けんちん汁
	えいようかん

	ソフト食
昼	カレーライス
	茶碗蒸し
	野菜ジュース
夕	お粥
	豚ムース
	みそ汁(極小・ソフト)
	えいようかん











まずセッティングから行い
その後、各自どの調理を行うなどもその場で決め、調理に取り掛かりました。調理中に身につける物は色付きの物の方が、異物混入時にすぐに発見できる為、青色のエプロン・手袋を使用しました。







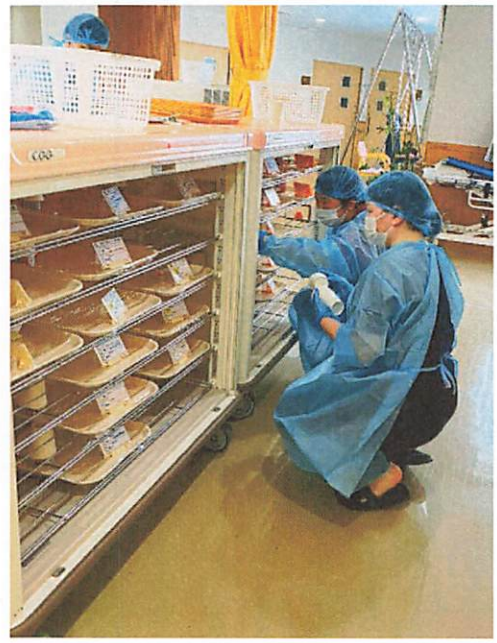
フルーツ缶を提供するのに、刻み食対応の方には、サイズが大きかったので、包丁で刻んで対応しました。おいしいフルーツではあるのですが、災害時には刻む時間がいるので、適さないなと感じました。



カレーライスは、中にご飯とカレールーが一緒になっており、器にうつしてそのまま食べれます。全ての食形態の方が食べれるので、誰でも提供ができます。味もおいしかったです。

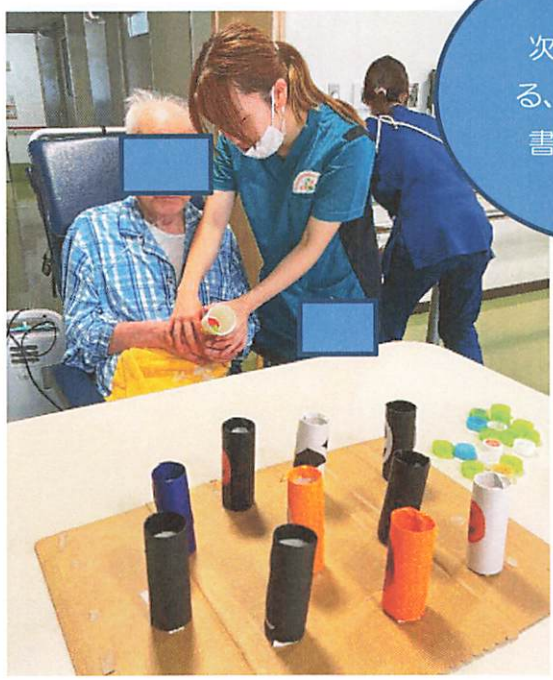


食事形態のミスがないようにWチェックで最終確認を行い、無事に提供までできました。今後も様々な被害を想定し、訓練を行っていきたいと思います。



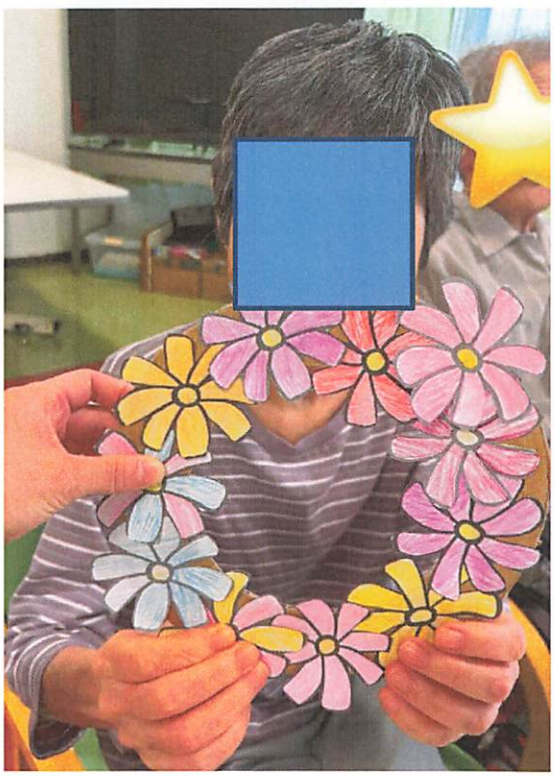
■10月の記録より　リハビリレクレーション

7月～毎週木曜日、機能訓練指導員が中心となり、運動や手作業のレクレーションを実施しています。秋のリース作りや、的当てなど様々な内容で、ご利用者様から大好評です♪



次のページにある、運動会の題を書いています♪





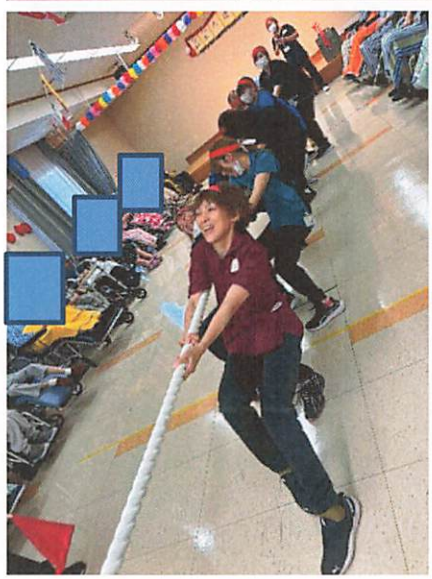


■運動会について（全体行事）

10/14 に運動会を実施しました♪玉入れ・パン食い競争・大玉送り・職員の綱引きを行い今年も大盛り上がりでした🔥













■現在の面会方法について（R8.5/11～変更なし）

R8年5/11から、感染対策の緩和を行い、本館2名・新館4名までは居室にて上限1時間制。（面会予約なし）3名以上の本館家族の場合、従前通り予約制で15分の面会。に変更しました。

本館2名・新館の場合（予約なしで上限1時間の面会が可能）
10：30～11：30　　15：30～16：30　**最大1時間**

本館3名以上の本館の場合（予約制で上限15分の面会が可能）
10：30～10：45／11：00～11：15　　15：30～15：45／16：00～16：15　**最大15分間**
※土日祝の面会にも対応しています。

本館2名の場合、体調不良を訴える事が困難と判断し、『未就学児を除く事』としており
未就学児がいる場合は、要予約としています。

■新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う面会方法の推移（R8.5/11～変更なし）

※令和2年3月～は省略
令和４年　１月　「ガラス越し（本館玄関風除室とホール）」での面会
令和５年　５月　「セミパブリックルーム」「新館居室」での面会
令和５年　７月　「ガラス越し（本館玄関風除室とホール）」での面会
令和５年１１月　「セミパブリックルーム」「新館居室」での面会
令和７年１月６日～ 面会方法を時間指定あるものの面会フリー制へ
→ ①コロナ感染拡大に伴い１／７～１／１４まで面会中止
→ ②感染対応を延長し２／３まで面会中止
令和７年２月４日～ フリー制ではなく従前の予約制面会で再開（本館の面会会場を1箇所増加）
令和７年６月３日～ 本館も1名の場合のみ、居室面会開始・新館は上限1時間制へ
令和７年９月１日～ フリー制ではなく従前の予約制面会に変更
令和８年５月11日～ 本館2名まで居室で上限1時間、2名以上は従前の予約方法で15分
新館は4名まで上限1時間制へ

■体調管理について

入所者の方は、朝・昼・夕の3回体温測定。職員は令和６年４月～、朝・昼・夕の体温測定を朝の体温測定１回に変更し、体調管理を行っています。

なお、「感染（陽性）」「濃厚接触者」となった場合は、行政機関（大分市・大分市保健所）の指針に従って対応しています。

■感染症対策委員会

高齢者施設は、感染症に対する抵抗力が弱い高齢者が、集団で生活し活動する場であることから、感染が広がりやすい状況にあることを認識し、利用者を感染症から守るため、平常時から感染予防対策を実施しています。感染症発生時には迅速かつ適切な対応を図ることができるように「アルメイダメモリアルホーム感染対策指針」を定め、指針のもと感染症対策を行っています。

当施設では感染症対策委員会を設置し、法令の３ヶ月に１回以上開催しています。また、施設長の招集により必要に応じて臨時に開催しています。

【開催状況と議題】（R7.8/20～追加なし）

令和６年 10 月 10 日「業務中や日常生活においての感染症対策について」
令和６年 11 月 ７日「感染対策や、今後の面会制限について」
令和６年 12 月 ５日「感染症の流行に備えて、施設内の感染対策について」
令和７年 １月 14 日（臨時開催）「R7.1 発生コロナ感染拡大に伴う 1/15 以降の各種方針等の協議・決定」
令和７年 ２月 ３日（臨時開催）「2 月 4 日以降の面会等方針の協議・決定」
令和７年３月 27 日（臨時開催）「新年度の面会等方針の協議・決定」
令和７年８月 20 日（臨時開催）「9 月 1 日以降の面会等方針の協議・決定」
※令和７年以降は、通常の開催分は省略し、臨時開催の直近１年分を記載しています

⑥ 事故防止・身体拘束廃止に向けた取り組み

■事故防止委員会

施設内での介護事故を未然に防止し、安全かつ適切な質の高いケアを提供することを目標にしています。そのために、必要な体制を整備するとともに、利用者一人ひとりに着目した個別的なサービス提供を徹底し、組織全体で介護事故の防止に取り組んでいます。

当施設では事故防止委員会を設置し、３ヶ月に１回開催しています。委員会では、事故の未然防止・再発防止のための方策立案、施設内で起こった事故に対して要因分析、職員への周知、情報共有を行っています。

【発生状況】　期間：令和８年８月～令和８年９月（地域密着型ﾕﾆｯﾄ）
・事故報告　　６件
・ヒヤリハット　12 件
※ヒヤリハット…事故には至らなかったが「ヒヤッ」「ハッ」とする状況のこと。

【事故防止委員会の開催状況】
・令和８年８月 26 日
・令和８年９月 16 日

■身体拘束０推進委員会

利用者に対して人格と尊厳を守ることを第一とし、利用者の日々の生活機能が維持向上されるようにケアを行っており、利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体拘束は行いません。ケアプランの策定にあたっては、多職種連携で利用者のアセスメントに取り組み、身体拘束に頼らず日々の生活が送れるよう取り組んでいます。やむを得ず身体拘束を行う場合は、「緊急やむを得ない身体拘束に関する説明書」を策定し、ご家族に拘束が必要な理由等の説明を行い、同意を得た上で実施しています。

当施設では身体拘束０推進委員会を設置し、毎月１回開催しています。委員会では身体拘束を行っている利用者の経過観察や解除に向けての対策について、話し合いを行っています。

介護保険指定基準の身体的拘束禁止規定
「サービスの提供にあたっては、当該入所者(利用者)又は他の入所者(利用者)等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他入所者(利用者)の行動を制限する行為を行ってはならない」

【発生状況】　期間：令和８年８月～令和８年９月（地域密着型ユニット）
・ロンパース　　２件
・ミトン（入浴時）１件

【身体拘束０推進委員会の開催状況】
令和８年 ８月 14 日
令和８年 ９月 18 日

（２）　質疑応答（要望、助言等）

（３）　その他